



# 麻布幼稚園だより 4月号

平成29年4月10日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

## 「手を携えて」

園長 大島 美知代

ご入園・ご進級おめでとうございます。平成29年度が始まりました。園庭の桜も咲きほこり、園児たちを温かく迎えています。今年度から3歳児定員が3名増え、25名定員となりました。お陰様で3歳児の入園は定員いっぱいの25名、4歳児定員30名のところ、28名、5歳児にも1名新入園児を迎え、76名の子どもたちを迎えてスタートします。園庭の桜もピカピカの遊具、整った保育室も私たち教職員も園児の登園を心待ちにしていました。子どもたちが新たな気持ちで登園し、毎日元気に過ごしてくれるのを楽しみにしています。

平成29年度は園庭の工事が始まります。新入園児面接時には「園庭の工事があり、平成29年度3学期頃から平成30年度にかけて園庭が使用できなくなります」と説明しました。それを聞いた保護者からは「では外で遊べなくなるのですか？園庭で遊べない代わりにどこで遊びますか？」と尋ねられる方が多かったです。本園の園庭は静かで緑が多く、土や砂に直接触れて遊んだり、土に触れて植物を植えたりできる自慢の場所、園児にとってはかけがえのない場所です。今年度と来年度教職員はその点を踏まえ、園庭の代わりの場所を考え、園児たちが運動したり、自然と関わったりできるよう、活動を工夫し、新たな取り組みを考え、子どもたちの充実した体験になるよう、考えていかななくてはなりません。

港区は「教育の港区」です。「子育てするなら港区」という言葉が聞かれます。港区の人口は25万人を突破し、出生率も全国でもトップに迫る勢いです。港区内に小・中学校、幼稚園が点在し、学校を中心として地域と連携をもっています。日本の伝統文化に触れ、地域の方とも触れ合いをもって生活ができます。また大使館や外資系の会社も多く、外国の文化にも触れることができます。ビルは立ち並んでいますが、子どもたちが遊べる場所、緑の多い区です。保護者が子育てする場所として「港区」を選び、公立幼稚園に入園してくれた思いに応え、これからの日本の未来を担う子どもたちの体も心も大きく、たくましく成長させなければならないと強く思っています。

子育てする時の物的環境はとても大事です。しかし人的環境が私はとても大切だと思います。本園の園庭が工事で使えなくなったとしても、周囲があわただしくなったとしても、子どもを育てる私たち大人ができることはただ一つ、園児たちが自立し、遊びを通して人への信頼感をもち、人と一緒に生活することの楽しさ、素敵さを感じ、より良い生活が送れるように自分で考えて行動できるようにすることです。大人は子どもたちを見守り、より良い方向へ導き、時には叱り、諭していかななくてはなりません。そして何よりも私たち大人が子どもと同じように、人への信頼感をもち、協力し合い、自分を高め合う姿を背中で見せていくことが大切です。

今年度も様々なことがあると思いますが、子どものため、一緒に手を携えていきましょう。

